

P T A 会 則

ひばりが丘中学校 PTA

この PTA 会則は卒業まで使用しますので保管をお願いします

印刷日：2022 年 5 月 7 日

西東京市立ひばりが丘中学校 PTA 会則

第 1 章 総則

第 1 条 名称

この会は、西東京市立ひばりが丘中学校 P T A といい、事務所は同校内にあります。

第 2 条 目的

この会は次のことを目指して活動します。

1. 生徒が幸せな学校生活を送ることができるように、保護者と教職員が協力します。
2. 生徒にとって、良い保護者、良い教職員になります。
3. 教育環境を整備します。
4. 一人ひとりの意見を大切にします。

第 3 条 方針

この会は、教育や教育支援を目的にした団体です。

1. この会は、どのような団体や機関からの指図を受けません。
2. この会は、どのような政党や宗教ともかかわらず、どのような組織も支持しません。

第 4 条 会員

本会の会員は、本校に在籍する生徒の保護者および、本校の教職員をもって構成し、常に平等の権利と義務を有します。また、会員は、役員会が認めた場合を除き、別途定める会費を納めるものとします。

第 2 章 会計・会計監査

第 5 条 この会の活動に必要な経費は、会費や寄付金、その他収入などをもってあてます。

第 6 条 会費は世帯単位とします。

第 7 条 この会の会計は、すべて定期総会で承認された予算に基づいて行われます。

第 8 条 この会の予算と会計監査後の決算は、定期総会で出席者の過半数の承認を得なければなりません。

この会の会計は公開を原則とします。会員から会計に関する資料等の開示請求があった場合には、役員会は速やかに応じなければなりません。

第 9 条 この会の会計年度は、04 月 01 日から翌年の 03 月 31 日です。

第 10 条 この会は 3 名（1 名は教職員）の会計監査を置き、任期は 1 年です。

会計監査の役割は次のとおりです。

1. この会の会計を半期ごと（年 2 回）に監査し、定期総会でその結果を報告します。
2. 必要があれば、いつでも、この会の会計を監査することができます。

第3章 総会

第11条 総会は、全会員で構成される、この会の最高議決機関です。

第12条 定期総会は毎年度の初めに開かれます。ただし運営委員会が必要と認めた場合や、会員の10分の1以上の要求があった場合には臨時総会を開かなければなりません。

第13条 総会の定足数は全会員の6分の1で、議決は出席者の過半数です。欠席者の委任状も有効数として認められます。賛成と反対が同数のときは、議長が判断します。

第14条 総会の議題はあらかじめ全会員に知らされなければなりません。

第15条 総会では、次の事項を承認または審議・議決します。

1. 活動方針と活動計画の議決
2. 会計予算の議決
3. 会計決算の承認
4. 活動報告の承認
5. 役員と会計監査の信任
6. 各種委員会に所属する教職員の承認
7. 会則の改正
8. その他

第4章 運営委員会

第16条 運営委員会は、この会の活動内容を議決する機関で、構成会員は次のとおりです。

1. 役員
2. 学級委員
3. 各委員会に属する教職員

第17条 運営委員会は、役員会で作成する年会計画に基づいて開催します。ただし構成員の4分の1以上の要求があった場合には、会長は臨時の運営委員会を招集しなければなりません。
ただし構成員の4分の1以上の要求があった場合には、会長は臨時の運営委員会を招集しなければなりません。

新年度第1回運営委員会は新旧合同の運営委員会で、学級委員の業務の引継ぎ等を行います。

第18条 運営委員会の定足数は構成員の2分の1で、議決は出席者の過半数です。欠席者の委任状も有効数として認められます。賛成と反対が同数のときは議長が判断します。

第19条 運営委員会は次の事項を審議・議決します。

1. 各学年、各種委員会が立案した計画
2. 各学年、各種委員会の議案
3. この会の年間計画
4. 総会に提出する議案や報告書
5. 補正予算
6. 施行細則の改正
7. 臨時委員会の設置

8. 役員の欠員補充
9. その他

第5章 役員会

- 第20条 役員会は役員から構成されます。役員会は、この会と運営委員会を運営します。
- 第21条 役員の任期は1年です。
- 第22条 役員に欠員を生じたときは、運営委員会で検討します。会長に欠員を生じたときのみ、副会長の中から選ばれます。
- 第23条 役員の定数と役割は次の通りです。
1. 会長 1名
この会を代表し、業務を統括します。
定期総会、運営委員会、臨時総会、臨時委員会を招集します。
上記の総会やすべての委員会活動の説明責任を負います。
会計監査を除くすべての集会に出席して、意見を述べることができます。
 2. 副会長 3名（1名は副校長）
会長を補佐または代行をします。
 3. 書記 3名（1名は教職員）
総会と運営委員会の議事やその他の重要事項を記録します。
文書や資料を保管します。
 4. 会計 2名
定期総会で決定した予算に基づくすべての会計事務を行います。
定期総会で、会計監査を終えた決算の報告をします。
この会の財産を管理します。

第6章 学級委員

- 第24条 学級ごとに5名の学級委員を決め、その学級の生徒の保護者や担任の教職員とコミュニケーションを図り、問題があれば解決のためのリーダーシップをとります。
- 第25条 学級委員のうち2名は学年委員に、それ以外の学級委員は校外協力委員会、文化交流委員会、選出委員会の各種委員会に各1名ずつが所属します。

第7章 学年委員会

- 第26条 学年委員会は、学年委員とその学年を担当する教職員によって構成されます。
- 第27条 学年委員の任期は会計年度と同じ1年で、欠員が生じたときはその学級で補充します。
- 第28条 学年委員会で正副委員長を互選します。

委員長はその学年を代表し、学年委員会を招集することができます。

学年委員は、必要に応じて、「運動会係」「合唱祭係」その他の係を兼務します。またその係員は、必要に応じて、係の補助員を募ることができます。

第 29 条 学年委員の役割は次の通りです。

1. 学級や学年全体の問題について、解決のための活動をします。
2. 学級代表として運営委員会に参加（代理でも可）します。
3. 必要があるときや会員からの要望があったときには学年集会を開きます。
4. 運営委員会に提出する議案や報告書を作成します。
5. この会の会費を集金します。

第 8 章 各種委員会

第 30 条 各種委員会は各学級の委員と、校長から推薦され総会で承認された教職員各 1 名ずつで構成されます。

第 31 条 各委員の任期は会計年度と同じ 1 年です。欠員を補充するかどうかの判断は各委員会が決めます。欠員は、欠員があった学級から補充されます。

第 32 条 各種委員会は正副委員長をそれぞれ互選します。

正副委員長は委員会を代表し、運営委員会に参加します。代理参加も可能です。

運営委員会に提出する議案や報告書を作成します。

第 33 条 各種委員会は、必要があれば、他の委員会の協力を求めることができます。またその活動が他の委員会やこの会全体に関係する場合には運営委員会の承認を得なければなりません。

第 34 条 各種委員会の役割は次の通りです。

1. 校外協力委員会

本校生徒が健全で安全な校外生活を送ることができる環境を整備するために、地域と連携します。

2. 文化交流委員会

会員同士の親睦をはかります。また会員が参加できる行事や懇談会を企画し開催します。

3. 選出委員会

次年度の役員や会計監査候補者を選出するための企画と運営をします。

第 9 章 臨時委員会

第 35 条 運営委員会は、必要があれば、臨時委員会を設置することができます。

第 36 条 臨時委員会は、決定したことを実行するには、運営委員会の承認を得なければなりません。

第 10 章 リコール

第 37 条 会員は全員数の 3 分の 1 以上の署名を集め、役員会に提出することで、役員と会計監査のリコールを請求することができます。役員会及び運営委員会は署名受理後 60 日以内に臨時総会

を開催し、出席者の 3 分の 2 以上の賛成で職を失います。

第 38 条 リコール成立後の対応は、その総会で審議し、決定します。

第 39 条 この会は役員を一括信任しているため、個別のリコールは請求できません。

第 11 章 施行細則

第 40 条 この会則の具体的な運用についての必要な細則は、運営委員会での議決が必要です。また細則を改正する場合は、出席者の 3 分の 2 以上の賛成が必要です。運営委員会は、細則を改正した場合は、その内容を次期総会で報告しなければなりません。

第 12 章 会則の改正

第 41 条 この会則や付則は、総会出席者の 3 分の 2 以上の賛成で改正することができます。ただし役員会は、改正案を、総会の 1 週間前までに会員に通知しなければなりません。

第 13 章 守秘義務

第 42 条 役員と全ての委員は、その役割上で得た個人的な情報は守秘しなければなりません。

第 14 章 付則

第 1 条 この会則に記載されていないことは、会員の利益になるよう、誠意をもって対応しなければなりません。

第 2 条 学校長は、この会のすべての委員会に出席して意見を述べることができます。

第 3 条 この会則と付則は平成 27 年 04 月 01 日から施行します。

第 4 条 この会則は令和 4 年 4 月 20 日に改正し、令和 4 年 4 月 1 日から遡及適用します。

施行細則

第 1 章 役員および会計監査の選出ならびに就任

第 1 条 役員および会計監査の任期

役員と会計監査の任期は、新学年度の第 1 回総会から翌年度の第 1 回総会までです。

会計監査は任期会計年度が終わり次第、会計の監査を行い定期総会で報告します。

第 2 条 候補者の選出

1. 選出委員会は、立候補または抽選により選ばれた人の中から次年度役員および会計監査候補者を選出する会を開催します。なお選出委員は候補者に選出されませんが、選出委員会で認められれば立候補できます。
2. 候補者は、次年度 2 学年と 3 学年の会員から選出します。ただし、役員会と選出委員会の承認により、本校に来年度入学予定である保護者の立候補は認めます。
3. 役員を経験した者は、入学予定者も含み、以降在籍する全ての子の期間において、役員、各種学級委員を辞退することができます。ただし、いずれも立候補は妨げません。
4. 対象子が特別支援学級に在籍する者は、特別支援学級委員およびその正副委員長を除き、役員、各種学級委員を辞退することができます。ただし、いずれも立候補は妨げません。
5. 特別支援学級の学年委員数は、学級単位ではなく、学年横断、I・J 学級合同で 2 名とすることを認めます。

第 3 条 信任

新規の役員と会計監査の信任は新年度の第 1 回総会で行います。ただしこの会は役員を一括信任しているため、役員個別の信任ではありません。

第 2 章 非会員の協力

各委員会が企画し、運営委員会が承認した場合には、卒業生保護者、地域ボランティア、専門家等に活動への協力を求めることができます。

第 3 章 会費

第 4 条 会費は、予算または予算案に従って金額（ただし、上限は¥2,000）が決定されます。

会費は毎年年度開始時期に学年委員が各学級で集金し、役員に預けます。

転入会員については、1 学期転入は会費の 1/1、2 学期転入は会費の 1/2、3 学期転入は会費の 1/4 になります。

第 5 条 予算は、原則として、翌年度には繰り越しません。使われなかった会費は、会員への返金を含めて、総会で決定します。

なお、転出会員の返金額は、前条の割合で決められます。

第 4 章 慶弔規定

第 6 条 生徒または、会員が死亡した場合、弔慰金は 10,000 円です。

第 7 条 慶弔金の返礼は一切受け取りません。

第 5 章 地区住居割

第 15 条 地区住居割は校外協力委員会に帰属します。

付則

この施行細則は令和 4 年 4 月 20 日から施行し、令和 4 年 4 月 1 日から遡及適用します。

ひばりが丘中学校 PTA

（所在地）

〒202-0001 東京都西東京市ひばりが丘 3-2-42

042-439-5550

（設立）

昭和 49 年（1974 年）4 月 20 日

メモ

ひばりが丘中学校 PTA 基金運営規程

第1条（目的）

この基金は、ひばりが丘中学校の周年記念行事や祝事、もしくは卒業生や地域に還元できる物の費用を助成するため、この基金より支出することを主たる目的として設置する。

第2条（積立）

PTA 会費の一部を原則毎年組み入れる。その他協力金をもって充てる。積立額は前年度収支決算額に応じて年度毎に定め、総会で承認を受ける。

第3条（基金の支出）

基金の使用については運営委員会で決議し、総会にて決算報告を行う。

第4条（改定と廃止）

この規定の改廃は、PTA 総会の議決を得なければならない。

附則

この基金運営規程は、令和4年4月1日から施行する

組織図

